

おしどりマコ・ケン

誇りを持って未来を選ぶ 原発は今どうなっているか



おしどりマコ・ケン

マコとケン夫婦コンビ。横山ホットブラザーズ、横山マコトの弟子。東日本大震災後、原発事故、水俣・アスベストなど公害問題など取材活動も始める。ドイツでの国際会議などにも度々招聘され、ヨーロッパの大学などで取材報告を毎年している。2016年「平和・協同ジャーナリスト基金」奨励賞受賞。(社)漫才協会会員。(社)落語協会会員。(社)日本保健物理学会会員

「た」というような東電が嫌がる質問をするのですが、それをいつもよく当てる記者たちが「そんな質問いいんだよ」とか野次るんです。

これはおかしいと。ある時がまんなくなると、声の瞬発力や大きさだったら誰にも負けへんから、あのがんばってる記者さんが「お前の質問なんかいいんだ」と野次られたら、後ろから「私たちが聴きたいんだ」と野次り返してやろうと。それが目的で最初、記者会見に入りました、はい。

そんなニュースにするんだってみんなも質問してよ、と思いたげどね。今、いつのまにか私たちが東京電力の記者会見で、最も出席回数が多いベテラン記者になっていく。

2016年11月川俣町の説明会取材しました。地元の方は自宅や農地は確かに除染され線量が下がったが、山や林の道が除染されてないの被ばくしてしまうと訴えました。そうしたら国は「そのような道を通る時は、できるだけ息を止めて、小走りですぐ抜けて下さい」と回答したのです。もう聞き間違えたのかなと、びっくりしました。

こういふ農家の問題が表に出てこないのは、各省庁から電通にたぐさん予算がおりていて事細かに対策がとられているからです。メディアセミナー

「麻生太郎がなんでまだ現役の政治家なんですか」とか「なんで報道があんなに政府寄りなんですか」となんて聞かれました。

ドイツでは誰と話をしても割と第二次世界大戦の話になるんです。先生に、なんでみんなそんなに原発事故のこと知ってるんですか、と聞いたら「ドイツでは当初関係ないと思ってナチスに台頭をゆるしてしまっただけだから自分に関係ない事などない」と言っていました。

私はペンを握る時、試し書きのところに「脱原発」とか米軍基地の話とか書くんですよ。そういう「合法的な」形で、半径5メートルの人たちにゴッソッとメッセージを忍び込ませて、伝えることができましたらと思っています。

農民の被曝、守られず

カリウムまいてセシウム残る

記者会見には、堂々としていられ誰でも入れます。基本的に、取材して発信しようとする人は全て記者です。国家資格が必要な訳でもありません。初めての質問は、原子炉建屋から毎晩すごい勢いで出ていた白い煙についてでした。ライフルで見ていたと、その煙が何層も立ち上るんです。それがすごく怖かったのですが、東電も説明しない記者たちも質問しないので、しょうがないと質問しました。結果的に、それは放射性物質が入った水蒸気で、事故後に継続して大量に放出されていたことがわかりました。新聞、テレビのトップニュースにもなったのですが、

意識の高いドイツ

質問超マニアック、なぜか

2014年から毎年ドイツに呼ばれています。初め招待状が「ドクターおしどり」と英語で来たので、間違いないかなと思って、アイアムア、コメディアンって返事を書いたら「知ってます」と。学校や教会で原発事故の話をしてほしいと、中高や大学で毎年20校くらいで講演しています。

ドイツの学生はめちゃくちゃ日本の原発事故に興味津々で質問攻めにあります。「時間がないので最後、どうしても質問したい人」というと、もうほぼ全員手が上がるみたいな。その質問もマニアックで、政府事故調査報告書の英語版を読んでいる学生が結構いました。原発以外にも

事故きっかけで芸人が記者に

「半径5mを変えていく」

芸人で記者の「おしどり」のお二人が、7月10日の平和共同取材で行なった講演について、その一部を紹介します。(文責・見出し共に編集部)

私たちが、漫才をやっているが、福島第一の原発事故を11年間取材しています。2011年当時、私たちは品川プリンスホテルの吉本興業の劇場で、3月15日から31日まで、看板キャラクターとしての出演を予定していました。3月11日、地震と原発事故があったので、東京にいるテレビタレントやミュージシャン、芸人もほとんど東京から関西とか海外に避難していきま

私たちが看板キャラクターだから東京にいないといけない。そして、おしどりのファンの子どもたちを劇場に集めないといけない。でも一緒に舞台に入る人たちは子どもを逃している。これはあまりにもおかしいと思って、家族会議を開きました。ま、二人なんですけど。原発事故で何が起きているのか調べて、そ

れをちゃんとお客さんに伝えたい。舞台では原発のこと言えないと言われていたので、とんちを効かせて、お客様にブレセントを渡すときに紙に書いて渡そうと。それで自分で1次情報を調べなくては、取材を始めました。

3時間手あげて指されない記者

当時ニコニコ動画とかで中継していた東京電力の記者会見をずっと見ていたんです。そのうち記者たちが誰かも、声を聴いてわかるようになり

ました。これは朝日新聞の杉本だとか、これは読売の斉藤だ、とか。そして、明らかに一番前で3時間も手をあげ

ているのに、司会が避けて、当てられない記者がいることわかりました。その記者に当たると、「それ、聞きたか

た、はい。

「麻生太郎がなんでまだ現役の政治家なんですか」とか「なんで報道があんなに政府寄りなんですか」となんて聞かれました。



「ドイツで学生に質問攻め」とマコさん